

おだわら

発行 小田原市役所 編集 広報課 (☎33-1261) 〒250 小田原市荻窪300番地

平成3年(1991年) 3月1日

人口・世帯	(2月1日現在)
人口 193,915人	(前月比+108人)
世帯 61,635世帯	(前月比+37世帯)

健康を守ったり、暮らします。会を開きます。

かにする公共施設を見学する

広報課

☎33-1263



友だちと参加しよう

公共施設見学会

- ◆期日 三月二十九日(金)
- ◆集合・解散 小田原駅西口
- ◆解散 午前九時三十分
- ◆定員 二十五人(定員を超えた場合は抽選とします)
- ◆見学する施設 上府中公園
- ◆費用 無料。昼食は市で用意します。
- ◆申込み及び問い合わせ 申込み受付 三月十六日(土)までに電話で広報課へお申込みください。

私たちの代表を決める県知事・県議会議員選挙が四月七日(日)に、そして市議会議員選挙が四月二十一日(日)に行われます。

今回の選挙は私たちにとって、身近で大切な選挙です。私たちの生活はあらゆる分野で政治に密接にかかわっています。だれもが住みよい、豊かな街の建設のため、みんなで投票しましょう。

◆小田原市で投票できる方 ◆県知事・県議会議員選挙 ○平成二年十二月二十八日までに本市に転入届等の手続きをした方が基準日(三月一十八日)現在住んでいる方 ○昭和四十六年四月八日までに生まれた方

◆投票時 ○投票時間 午前七時～午後六時 ○投票用紙の書き方

◆入场整理券 郵送により有権者の方にお届けしますので、整理券を持つて、記入された投票所へお出掛けください。なくされた方は、お話し下さい。

◆投票場所 ○神奈川県議会議員選挙 ○小田原市議会議員選挙 ○神奈川県議会議員選挙 ○小八幡公民館

◆投票区域の変更 ○投票区域の変更 ○投票区域の変更 ○投票区域の変更

◆開始時間 午後八時から ○開票速報は「おだわら・くらしのテレフォンガイド」で

◆利用方法 テレフォンガイドに加え、通勤方法の見直しを進め、金曜日を「ノーカーデー」とし職員に車通勤の自粛を呼び掛けています。

また、暖房温度の引き下げ、公用車の効率的利用や、小田原城天守閣など観光施設の照明時間、鴨宮駅南口広場の噴水の運転時間の短縮等を行っています。

市民のみなさんにも省資源、省エネルギーへの協力をお願いします。また、お気付きの点がありましたら、市民相談室(☎33-1383)までご連絡ください。

◆問い合わせ 社会課 ☎33

1861

◆応募資格 市内に在住、在勤又は在学している18歳以上の方

市は、心身障害児や障害者の生活向上と福祉の増進を図るために、下表の手当の支給を行っています。現在、これらの方の手当を受けない方で、下表の要件に該当する方は、福祉課へご相談ください。

◆問い合わせ 福祉課庶務係
☎ 1462

心身障害児・障害者 のための各種手当

お気軽にご相談を

神奈川県在宅重度障害者等手当	小田原市心身障害児福祉手当	障害児福祉手当	特別障害者手当	手当名
4321	321	54321	4321	20歳以上
身体障害1級～4級 知能指数40以下	身体障害1級～4級 在宅のみ	障害の1級及び2級の一部 所得が規定以下	在宅のみ(病院入院3か月未満) 国民年金1級の重複相当(身障1級の一 部)	支給要件
程度により異なる	2,000円	12,380円	22,760円	月額
7・12月		5・8・11・2月		支払日
4月1日～30日		いつでもよい		受付

申告と納税は
お早めに



申告と納税は
お早めに

- ①今年一月一日に小田原市に住民登録のある方で、平成二年中に所得のあつた方
- ②二年中に配当所得のあつた方で、源泉分離課税を選択した方
- ③申告書の送付を受けた方

固定資産の課税
台帳の確認を

固定資産税は固定資産課税
台帳に基づいて課税されます。
この台帳には、資産の状況や
価格などが登録されています。

◆期間 四月一日～二十日
午前八時三十分～午後五時
(土曜日は午後零時三十分
まで、第二・第四土曜日と
日曜日は休み)

市税や国民健康保険料、清掃手数料は、納期限を過ぎる

と督促状が送られ、本来納め

るべき額のほかに滞納金も合

算され、滞納整理にかかる費用を結局は貴重な市税

料は、滞納したままでいることになります。

また、滞納整理にかかる費用を結局は貴重な市税

people people people people people people people people

火災の早期発見・人命救助で
消防長から感謝状を贈られた

村山博子さん



people people people people people people people people

近所の八十歳になる独り暮らしのおばあさん宅が全焼した。たまたま通りかかった村山さんは、その場に立ち尽くすおばあさんを一早く連れ出し、隣家に消防署へ通報を頼んだ。その勇気ある行動に対し、今年の消防始式で消防長から感謝状が贈られた。

「ちらちらと火が見えたので、不審に思つてのぞい、火事を知らせ、消防団員の息子さんにも知らせようと息子に飛び込んだ。無夢中だった。振り返ると、おばあちゃんの家はすっかり炎に包まれている。初めて間違つたし、「もし、あのとつも温かく見守つてあげることが必要」だとつくづく思つたし、「おばあさんの手をつかんで近い見る火事の恐ろしさに気が動転して、しばらくのでは」と、今では少し

「ちらちらと火が見えたので、不審に思つてのぞい、火事を知らせ、消防団員の息子さんにも知らせようと息子に飛び込んだ。無夢中だった。振り返ると、おばあちゃんの手をつかんで近い見る火事の恐ろしさに気が動転して、しばらくのでは」と、今では少し

people people people people people people people people



三月一日から七日まで全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。そこで、この機会に昨年の本市の火災と救急のあらましについてお知らせします。みなさんも、身近な火災予防の方法や救急車の正しい利用について考えてみましょう。

◎火災発生は七十五件

昨年一年間に市内で発生した火災は、七十五件でした。その内訳は、建物火災が四十五件、車両火災が十三件、林野火災が二件で、その他の火災が十三件です。

建物火災のうち、住宅や建物火災が二十九件で、高い割合（六十四パーセント）を占めています。一方、火災による損害は、

火災の損害を少なくするには、最初の三分間に行う初期消火がうまくいくかどうかに

かかっています。消防器具の準備と上手な使い方を日々のから練習しておきましょう。

◎決め手は初期消火

昨年の建物火災で、みなさんが消火器や水バケツなどで消し止めた火災は二十五件ありました。

◎収集日以外にはごみを出さ

物を散らかして置かない。

◎空気が乾燥し、強い風が吹

いていたときにはしない。

◎火災による犠牲者をなくす

生き残ったときにはしない。

増え続ける救急車出場

運んだ人は5千人超える

市消防署が、昨年一年間に救急出場した件数は五千二百四十六人で、百十二件・四千七百四十六人を大きく上回り、初めて五千件を突破しました。

一日当たりの出場回数は十四回強で、市民三千七人に一人が救急車で病院などに運ばれることになります。

患者の約五十パーセントの方は軽症者で、以下中等症三十

一方、年齢別では、急病で運ばれた人の三十七パーセント

トが六十五歳以上の方で、交通事故では十五歳から二十五

歳までの若い世代が四十パーセントと断然多くなっています。

一方、年齢別では、急病で運ばれた人の三十七パーセント

トが六十五歳以上の方で、交通事故では十五歳から二十五

歳までの若い世代が四十パーセントと断然多くなっています。

患者の約五十パーセントの方は軽症者で、以下中等症三十

一方、年齢別では、急病で運ばれた人の三十七パーセント

トが六十五歳以上の方で、交通事故では十五歳から二十五

歳までの若い世代が四十パーセントと断然多くなっています。

一方、年齢別では、急病で運ばれた人の三十七パーセント

トが六十五歳以上の方で、交通事故では十五歳から二十五</p

